



SDGs 未来都市
岡山県 真庭市

全国初の消防士による料理イベント「消防士の台所in真庭」

～真庭消防を代表する料理自慢が集う!! 消防士づくりの2日間～

岡山県真庭市（まにわし）消防本部では「消防めし が繋げる持続可能なまちづくり」をテーマに、真庭消防を代表する各署の料理自慢の消防士が集い、調理から接客・レジ打ちなどのすべてをこなしながら市民との交流を深める2日間の料理イベント、「消防士の台所in真庭」を開催します。全国初となる消防士づくりの料理イベント、消防士が愛情をこめて作る「消防めし」をお楽しみください。

日時 第1日 2019年2月16日（土）11:00～15:00

第2日 2019年2月17日（日）11:00～15:00

場所 ボルサリーノ -Pizza Borsalino-（岡山県真庭市久世2669-4）

メニュー

2月16日（土）

本署 燃え燃えファイヤーオムライス（消火してください）

湯原分署 消防士と一緒に筋トレしたムキムキ大胸筋の鶏の唐揚げ定食

北房分署 上腕二頭筋で練り上げた筋肉繊維うどん（消火[消化]が良いです）

2月17日（日）

本署 真庭消防署設立46年 秘伝の消防カレーに市長の玉ねぎを添えて

蒜山分署 ベテラン署員の思いやり 手作り味噌だれ焼きそば

美新分署 上司のスパイシーな説教が効いてない入署したての新人タコライス

その他

- ・緊急対応を最優先させていただきます。その際は、イベントを中止する場合がございますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・両日とも、各食50食限定で、1食500円前後の予定です。
- ・本イベントの収益は全額、平成30年7月豪雨岡山県災害義援金として充てさせていただきます。
- ・当日の状況によっては、店外でしばらくお待ちいただく場合もございます。防寒対策はしっかりとご準備ください。
- ・会場の駐車場はご利用できません。お車の方は、真庭市役所駐車場（岡山県真庭市久世2927-2）をご利用ください。

問い合わせ先 真庭市消防本部 総務課 担当 黒田
〒719-3204 岡山県真庭市惣 254-8
Tel.0867-42-1190
メール shobohonbu@city.maniwa.lg.jp

参考

岡山県真庭市とは

出力1万キロワットのバイオマス発電所が稼働するなど、藻谷浩介著の「里山資本主義」の舞台の一つで、国連が掲げる「持続可能な開発目標」を地方都市レベルで実践する「SDGs未来都市」に、内閣府から選定された岡山県北に位置するまちです。美しい高原の広がる「蒜山（ひるぜん）高原」、露天風呂番付西の横綱「砂湯」のある「湯原温泉」、勝山町並み保存地区などの観光地に加え、希少なジャージー牛を使ったチーズやヨーグルトなどの乳製品、B-1グランプリでゴールドグランプリを受賞した「ひるぜん焼そば」などが有名です。

2/17 (日) 各食 50食限定
【美新分署】(蒜山分署) 本署
上手のスイーシーを堪能できる
入賞したての朝八夕回ライス
手作り味噌だれ焼そば
ベトナム風味の炒め物
【湯原分署】(湯原分署) 本署
真庭消防署 職員 16名
市長の玉ねぎを堪能
経任の消防おじいちゃん
筋肉繊維うどん
【蒜山分署】(蒜山分署) 本署
湯原と一帯に響きわたる
消火していただき
オムライス
ムキムキ大胸筋の強さの唐揚げ定食
上座に座るまで
胃腸がほぐれる
胃腸がほぐれる唐揚げ定食

真庭消防を代表する料理自慢が集う!! 接客もレジ打ちもすべてが消防士。消防士づくりの2日間。

開催日時 2/16 (土) 2/17 (日) 11:00~15:00
場所 ポルサリーノ (真庭市久保2669-4)

本イベントの収益は全額平成30年7月豪雨岡山県災害義援金として充てさせていただきます。

【お問い合わせ】 真庭市消防本部 岡山県真庭市街254-8 電話 0867-42-1190 ① shobonbu@city.maniva.lg.jp 【協力】

真庭市消防本部とは

真庭消防署本署および4分署（北房分署、美新分署、湯原分署、蒜山分署）の連携により、市民が安心して暮らせるまちづくりに積極的に取り組んでいます。消防士は一般的な公務員と異なり、緊急の通報があれば24時間いつでも出動しなくてはなりません。そのため、「24時間勤務」と「非番」を繰り返す勤務時間となっており、勤務では夕食・朝食なども自炊します。そこで磨かれたと調理の技術を持って、今回のイベントに臨みます。

ほかの消防署と何が「ちがう」のか

「消防めし」という「食」のイベントを通して、子どもから大人まで、防災に関心がないに関わらず、だれもが参加しやすい場を提供します。普段のイメージとは「ちがう」消防士の姿を見せることで、消防の仕事へ親しみを感じてもらうという新たな挑戦です。

「食」を楽しみながらも防災に「気付き」をあたえる話題を提供することや、消防に対する意見を直接聞かさせていただくなど、市民との新しい出会いと防災を考えるきっかけにしていきます。多くの皆さんが「防災」を考える場とはまったく「ちがう」場を提供できるよう取り組んでいきます。